

志布志港長期構想検討委員会（第2回委員会）
－ 議事概要（委員等からの主な意見） －

全体に関する意見

- ・ 港の整備について、20年から30年後の物量を見据えてダイナミックな港の構想をお願いしたい。
- ・ 旅客フェリーの利便性や快適性の向上のため、ターミナル移転やうねり対策について、早期整備を検討していただきたい。
- ・ 港の安全を確保するために、人流と物流を分けた計画としていただきたい。
- ・ フェリー・RORO移転候補地は、うねりや大型船入港時の航走波の影響を考慮した計画としていただきたい。
- ・ 公共岸壁をただ増やすのではなく、港運業者の受け入れ体制の確保を考慮した上で、船の利用の仕方や安全安心に使用できるよう、岸壁の位置づけを検討していただきたい。
- ・ 長期構想の検討では、志布志港は港が狭いので広げるゾーニングの検討をしていただきたい。
- ・ 物流、観光、防災にしっかり取り組むためにも「拠点」という言葉で強さを主張してはどうか。
- ・ フェリー待合所と背後の観光拠点の成長が見込める検討が必要と考える。
- ・ 人流ゾーンや物流ゾーンの分離、フェリーを利用する観光客の安全対策をお願いしたい。
- ・ 沖合展開について、今後の将来のニーズを把握し検討していただきたい。

「物流・産業」に関する意見

- ・ 人口減少や高齢化による労働者不足の課題に対し、中長期構想に人材育成や人材確保などの要素を取り入れていただきたい。
- ・ 志布志港の発展には、コンテナを中心としたハブ港を目指す取り組みが必要ではないか。

- ・ 後背地域の成長のためにも高付加価値産業を立地し雇用を生むことが大事である。
- ・ 原木や農産品の付加価値を高める加工工場の誘致など、港湾背後地の有効活用を検討すべきと考える。
- ・ コンテナヤード拡張は重要と考えるが、使い方の効率化も併せて検討していただきたい。
- ・ 外貿定期コンテナ航路の拡充は、県と市が連携し、志布志周辺だけでなく、より広範囲な背後地域から荷物を集める取り組みが必要と考える。
- ・ 物流の2024年問題やモーダルシフトに伴う海上輸送への転換が期待される中、シャーシ置き場確保等のハード対策に加えて、情報通信技術を活用したソフト面の取り組みも進めていただきたい。
- ・ 港湾物流は、税関手続きと密接な関係にあるため、港湾機能の拡張や移転については、早期協議を行い保税制度を円滑に導入していただきたい。
- ・ 港湾関係者と調整を行い、フェリーの利用促進や効率的な輸送を検討していただきたい。

「人流・賑わい」に関する意見

- ・ 緑地公園を若浜地区から外港地区へ移転する施策について、詳細な移転場所はヤード利用者と調整をお願いしたい。
- ・ クルーズ船寄港に伴い志布志市内や大隅半島一円への流れを考えた2次交通の検討が必要と考える。
- ・ クルーズ船寄港に伴い観光コンテンツの充実や交通手段の対策が必要と考える。
- ・ 平常時のにぎわい創出も大事であり、港の中だけではなく背後の市のまちづくりと連携が必要と考える。

「安全・安心」に関する意見

- ・ 「安全・安心」の課題について、津波災害による航路閉塞はコンテナ流出や原木流出でも発生するため「原木・コンテナ等」としていただきたい。

- ・ 「安全・安心」の取組方針に大規模災害時における迅速かつ円滑な応急対策とあるが具体的な時期を教えてください。
- ・ 「安全・安心」に関する具体施策を優先的に進めていただきたい。
- ・ 「安全・安心」の取組方針に、港湾機能の全般的なBCPの取り入れを検討していただきたい。
- ・ 港へのアクセスとして人と車の分離といった安全性を保つ必要がある。
- ・ 津波避難施設に、手すり付き階段や電灯等を設置した防災安全の検討していただきたい。
- ・ 港の変化による船舶交通の安全確保及び原木・コンテナ流出防止対策について、優先順位を高めていただきたい。
- ・ 災害時における耐震強化岸壁の整備や、原木・コンテナ流出防止対策をお願いしたい。

「環境・エネルギー」に関する意見

- ・ 公共ターミナル内の荷役機械の充電設備の整備を検討していただきたい。
- ・ 環境・エネルギーの取組方針にある「地域の魅力や個性を創出する港湾景観の形成」については、人流・賑わいの方が関連性が高いと感じるため、考えの整理をお願いしたい。

その他の意見

- ・ 馬毛島関連工事でヤードが足りていない状況であり、岸壁利用の調整をお願いしたい。
- ・ 志布志の発展には観光施設などの、集客や雇用率が高まるものを配置し人口が増えることが大事である。
- ・ 今後、モーダルシフトが促進していくことを期待している。
- ・ いただいたご意見を整理して、長期構想案をまとめていきたい。
- ・ 今後も長期構想に向けて、しっかりと取り組みをしていただきたい。